

News Letter NCM ジャパン 2021年9月号



平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神と呼ばれる。(聖書より)

巻頭言「人生は健全な遊びで決まる」

NCM ジャパン理事 篠澤忠俊

私は、今幼児教育に関わっています。
NCM ジャパン理事として毎日子どもと過ごしています。
月曜日は礼拝です。聖書からお話をしています。
子ども達は「遊び」がとても好きです。
そしてこの「遊び」は大変重要です。「遊び」が子ども達の存在価値を決めていると言っても過言ではありません。子ども達が「遊び」から「存在の喜び」を得ているのです。
特に「虫」とか「昆虫」が大好きです。ダンゴ虫を始めすべてです。自然の中に子ども達は、「生きる」ことを身に着けています。
子ども達は、虫を見つけると、「声」が大きくなります。
体も活発に動きます。
子ども達の全身全霊をもって、未知のものに向かっ

ていきます。
自動車には「遊び」があります。ハンドル、ブレーキ、アクセルです。
もし「遊び」がなかったら、自動車運転には大変危険です。
人生にも「遊び」が必要です。
神学者モルトマンは「遊び」を「存在の喜び」としています。
哲学者マルティン・ブーバーは、「人生は出会いで決まる」と言っています。
宗教改革者マルティン・ルターは、「明日終末が来ても、私は今日リンゴの木を植える」と言っています。
「健全な遊び」を体験することは、人生にとって大変重要であることを私は確信しています。



今月の内容

- ミャンマー関連 NEWS
- NCM ジャパン研修会開催!
- 新!編集メンバー紹介

●ミャンマー関連 NEWS



ミャンマーで発生した軍事クーデター、およびミャンマー市民への違法な暴力行為について、
NCM ジャパンでは現地担当者より届いた情報を今後も発信してまいります。
また NCM ジャパンでは、日本語に翻訳するボランティアチームを立ち上げました。



京都新聞で活動が紹介されました!

“私は、この数ヶ月間若者とミャンマー情勢における共同翻訳作業に携わってきました。
多くの気づきをこの過程で得られ感謝しています。異言語間の疎通は、昨今 AI による自動翻訳の普及で便利になってきましたが、膨大な

翻訳チームリーダー 長崎香奈枝さん
情報の累積による現代の AI 翻訳が達し得ていない領域があります。
人には感情があり他者を思いやる尊厳を預かっている点は、AI には入り込む余地はありません。
持ち得た能力を隣人のために有益に用いられること願っています。”

NCM ジャパン研修会開催！

初めまして。今号から新しく NCM 紙面の編集を担当することになりました、星と申します。今回は、6月に行われた子ども支援ボランティアスタッフによる研修会の様子を皆様にお伝えします！

6/26、京都にある花園教会礼拝堂をお借りして、およそ2年ぶりとなる研修会が開催された。新型コロナウイルスの感染拡大により開催が危ぶまれる中であったが、マスク着用・アルコール消毒、また研修会後の夕食会も弁当の配布にする等の配慮のもと、ボランティアスタッフ15名(うち1名はオンライン参加)に加え、篠澤代表理事、ほか花園ジョイフル子ども会からも子どもたち数名が参加し、一堂に会した。

お互いに初対面のスタッフが多いということを踏まえ、研修会はアイスブレイクに始まった。アイスブレイクでは自己紹介のあと、各グループで「サスペンス映画について」など、一つのテーマについて雑談を行い、発表が行われた。中にはテーマから離れて関係ない雑談を初めてしまうグループもあったが、それもまた一興、と笑いを誘い、歓談の弾む時間となった。



(アイスブレイクの様子。4グループに分かれて)

プレゼンの時間では、まずはスタッフ歴4年の市倉さんから、続いて篠澤代表理事からの発表が行われた。

市倉さんのプレゼンのテーマは「利尻・京都島活プロジェクト」。アルバイトのため夏に北海道・利尻島に滞在した経験から「京都の子どもたちにも利尻の自然に触れてほしい」と考えるようになり、今回のプロジェクトを企画したという。

市倉さんは「多くの子どもたちにとって居場所=世界は「自宅か学校」であり、どちらか一方でも「居づらい」と感じたとき、世界の半分が失われてしまう。」と語り、今回のプロジェクトを「第二の故郷を見つけるための機会」と位置付ける。クイズを交えた発表は子どもたちの食いつきも良く、プレゼンは終始和やかな雰囲気で行われた。またこの発表をきっかけに学生スタッフからの協力者が3人増えるなど、本番に向けて弾みをつけるプレゼンとなった。

続く篠澤代表理事のプレゼンのテーマは「災害・子ども支援について」。前半部では、NCM ジャパン東京事務所が主導した東日本大震災の際のボランティア経験に基づき、「災害をどう生き延びるか」について、被災した子どもの精神面でのケアといった話題も含めてレクチャーが行われた。また後半部では、日本のNPO・NGOの問題点について共有された。諸外国と異なりNPO・NGO従事者が軽視されている現状があり、資金不足に陥っているなどの問題があるという。

その後、「第二の故郷」、また居場所を破壊する「災害」というトピックを扱った2つのプレゼンを受けて、「心地よい居場所とはどのような場所か？」というテーマでディスカッションが行われた。コロナ禍で移動が制限され、家庭で過ごす時間が長くなった中で、「居場所」の意味が改めて問われている。今回のディスカッションは、そのような「居場所」についての意見を共有する機会となった。

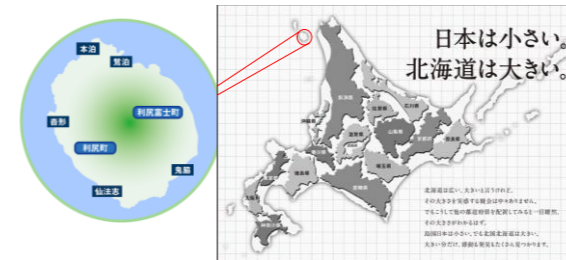


(二つのプレゼンのあと、司会がグループ・ディスカッションのテーマについて説明している様)

研修会後には参加者から「久しぶりに雑談ができて楽しかった」などの感想が寄せられ、また子どもからも「楽しかった!」との声が聞かれた。個人的にも、ボランティアスタッフの多くは学生だが、授業のオンライン化によって「雑談をする」という当たり前の時間が失われてしまった中で、今回の研修会はそのような「当たり前」を一時的にでも取り戻せた機会として貴重であったように思う。

コロナ禍で再開されたボランティア研修会。今年度は、感染症対策を講じつつ計4回開催する予定で、次の研修会ではボランティア間の交流と利尻島活プロジェクトの活動報告が行われる。

利尻ってどこ？



(市倉さんによる発表のスライド。)

Pick up! 利尻・島活プロジェクトって？

本文でも触れたように、ほとんどの子どもにとって居場所、あるいは人間関係は、家庭か学校の二つに収まってしまいます。そしてそのような居場所がひとたび「居づらい場所」に変わってしまえば、そこから逃れられないままに苦しみ続けることになってしまうことになります。さまざまな背景を持つ子供たちがいる中で、今回の「利尻・島活プロジェクト」では、利尻の大自然に触れてもらうことで、視野を広げてもらうねらいがありました。

今回は子ども支援の一環として、協働する花園ジョイフル子ども会から子ども2人がプロジェクトに参加し、島での生活を体験してもらいました。(なお、先遣隊の星が先んじて現地入りし、調査を行っています。)

次回ニュースレターではその様子を特集する予定です。引き続きご支援のほど、よろしくお願いします。

被災地での子ども支援

●教育格差が震災の出来事によってさらに増えてしまった。

お金のある家庭は教育費に一層の投資をし、塾に通わせていくが、シングルマザーなどはより貧しくなり、子どもへの教育低下が被災地では大きな問題となっている。

教育を求めて沿岸部から仙台市へと移住した親御さんは多い。

その結果過疎化している市町村はより過疎化が深刻になっている。

被災地・特に沿岸部地域の教育の底上げが大きな課題。



教育の底上げは、その地域に住む人々が問題意識をもっていかなければ解決できない問題。全体的な問題意識を持つことが大切
学童支援から、学童+教育支援のコラボレーションが重要なカギとなっている。

(篠澤代表理事による発表のスライド。)

●新!編集メンバー紹介

◎星 太郎

大学 2 回生(20 歳)

趣味:将棋、麻雀

ボランティアの経緯:

大学寮の先輩に連れられて。

今頑張っている事:早寝早起き・一汁三菜

目標:旧世代の教養を身につける!



◎木村 夏実

大学 2 回生(20歳)

趣味:バドミントン、YouTube

ボランティアの経緯:自分とは異なる

環境の子供の現状を知りたかった為。

今頑張っている事:毎日を充実させること

目標:好きでいられる自分ている!



賛助会員を募集しています!

子どもの「笑顔」を守るため、ご協力お願い致します!

	入会金 (入会時のみ)	年会費 (毎年口数変更可)
個人	2000 円	6,000 円/口
団体・法人	2000 円	30,000 円/口

お申込み方法

- ① いずれかに【氏名・住所・口数】をお送り下さい
NCM ジャパン事務局
・FAX 03-6805-5885
・メール ncmjapan.ncm@gmail.com

②口座にお振込下さい。

- ゆうちょ銀行
【口座番号】00130-7-450812
【名義】トクヒ)エヌシーエムジャパン

●他の金融機関

- 【店名】018(ゼロイチハチ)
【店番】018
【預金種目】普通預金
【口座番号】8622523(※末尾の1は不要)

編集後記

想像よりも長期戦となっている「With コロナ」の生活。

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。ワクチンの接種も進んできておりますが、個人的には正直まだ怖いなあという思いです。当たり前だったことが出来なくなってしまう今、出来ていることを大切にする、そんな思いで、この日々を一步ずつ過ごしていけるといいですね。今号もお読み頂き、ありがとうございました!(木村)

発行者:特定非営利活動法人 NCM ジャパン 東京都認証(設立認証:2015年6月4日)

代表理事:篠澤俊一郎

東京事務所 東京都中央区日本橋小伝馬町7番14号

京都事務所 京都府京都市右京区太秦安井辻ノ内町10番地1号

メール:ncmjapan.ncm@gmail.com

HP: <https://www.ncmjapan.org/> SNS(Twitter):@ncmjapan